

令和5年度の学校運営及び教育活動等に関する

学校関係者評価報告書

令和6年6月28日

学校法人太田アカデミー

OCMT

OTA COLLEGE OF MEDICAL TECHNOLOGY

厚生労働省指定養成施設

太田医療技術専門学校

1 はじめに

太田医療技術専門学校（以下、本校という）は、大学等における修学の支援に関する法律施行規則第2条及び平成25年度文部科学省告示第133号第2条の定めにより、本校学則第4条、専修学校において準用する学校教育法第42条及び同施行規則第66条、第67条、第68条並びに「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づいて令和元年度における本校の学校運営及び教育活動等に関して自己評価を行った。

なお、自己評価は本校ウェブサイト「公表情報」ページにて広く公開しているため、参考にされたい（<http://www.ota.ac.jp/medical/school/disclosure.html>）。

2 太田医療技術専門学校 学校関係者評価委員会

本校の学校関係者評価委員会（以下、本委員会という）は、学校長の諮問機関として位置づけられ、本校の専攻分野における実務に関する知見を有する人物、組織運営等の経験が豊富な人物等にて組織され、委員の経歴に基づく知見を生かして、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とするものである。

本年度は、令和6年6月27日に本委員会を開催し、各評価項目について、自己評価の妥当性等を検討した。本報告書はその結果をまとめ、本校ウェブサイト「公表情報」ページにて公開するものである。（<http://www.ota.ac.jp/medical/school/disclosure.html>）

次ページ以降に、項目ごとに学校関係者評価を記載した。また、項目により、各委員からの意見・提言等も記した。各項目における評価は4段階評価とし、それぞれの項目に対する活動が適切であると評価できるものを4、ほぼ適切を3、やや不適切を2、不適切を1として評価した。

3 太田医療技術専門学校 学校関係者評価委員会

令和6年度における本校の学校関係者評価委員は以下の通りである（敬称略・五十音順）

※令和6年6月27日現在／五十音順

| 氏名 | 現職 |
|-------|--|
| 佐藤 豊 | 群馬県理学療法士協会 監事 医療法人山育会 日新病院 桐生地域リハビリテーション 広域支援センター 主任 理学療法士 |
| 引田 正俊 | 一般社団法人太田新田歯科医師会 監事 引田歯科医院 院長 |
| 樋口 和之 | 本校卒業生 医療法人島門会 本島総合病院 作業療法士 |
| 丸山 智晴 | 群馬大学生生活協同組合 専務理事 |
| 和田 通 | 医療法人團康会 軽井沢團クリニック 事務長 |

4 自己評価及び学校関係者評価にあたって

昨年度までの自己評価及び学校関係者評価においては、それぞれの評価において評価点を1～4の4段階の整数値としていたが、今年度から以下の通りとすることが本委員会にて承認された。

- 1 各学科は1～4の4段階の整数で自己評価する。
- 2 各評価項目において、各学科の自己評価の平均値を小数第一位まで算出（小数第二位を四捨五入）する。
- 3 2で算出した平均値の妥当性を本委員会で評価する。

また、財務等、学科の教育活動に直接関わらない評価項目については、来年度以降、学校としての自己評価を行い、本委員会にて学校関係者の評価を受けることとした。

なお、この決定に基づき、本報告書において、昨年度の学校関係者評価も小数第一位まで算出して記載している。

| 1 教育理念・目標 | | R4 | R5 |
|---|---|-----|-----|
| 1 | 学校の理念、目的、育成人材像は定められているか | 4.0 | 4.0 |
| 2 | 学校の理念、目的、育成人材像をもとに特色ある職業教育が行われているか | 3.9 | 4.0 |
| 3 | 社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか | 3.3 | 4.0 |
| 4 | 学校の理念、目的、育成人材像は特色、将来構想などが学生、保護者に周知されているか | 3.8 | 3.8 |
| 5 | 学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか | 3.6 | 4.0 |
| 意見・質疑・補足等 | | | |
| <p>項目3について、作業療法学科において、自己評価が改善したこと（2点→4点）について、同学科長から「法人として学科の長期的な構想が示されたため4点と評価した」との補足があった。</p> <p>これ以外の意見・質疑・補足等はなく、自己評価妥当との評価を受けた。</p> | | | |
| 2 学校運営 | | R4 | R5 |
| 1 | 目的等に沿った運営方針が策定されているか | 3.6 | 4.0 |
| 2 | 運営方針に沿った事業計画が策定されているか | 3.8 | 4.0 |
| 3 | 運営組織や意思決定機能は規則的において明確化されているか、有効に機能しているか | 3.8 | 3.9 |
| 4 | 人事、給与に関する規定は整備されているか | 3.8 | 3.8 |
| 5 | 教務、財務等の組織整備など意思決定のシステムは整備されているか | 3.9 | 4.0 |
| 6 | 業界や地域社会に対するコンプライアンス体制が整備されているか | 3.8 | 3.9 |
| 7 | 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか | 3.9 | 4.0 |
| 8 | 情報システム化等による業務の効率化が図られているか | 3.9 | 4.0 |
| 意見・質疑・補足等 | | | |
| 意見・質疑・補足等はなく、自己評価妥当との評価を受けた。 | | | |
| 3 教育活動 | | R4 | R5 |
| 1 | 教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方策などが策定されているか | 3.8 | 4.0 |
| 2 | 教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 4.0 | 4.0 |
| 3 | 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか | 3.8 | 3.9 |
| 4 | キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫、開発等が実施されているか | 3.8 | 4.0 |
| 5 | 関連分野の企業、関連施設・業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか | 3.7 | 3.9 |
| 6 | 関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか | 3.5 | 3.9 |
| 7 | 授業評価の実施、評価体制はあるか | 3.7 | 3.8 |
| 8 | 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか | 3.7 | 3.8 |
| 9 | 成績評価、単位認定、進級、卒業判定の基準は明確になっているか | 4.0 | 3.9 |

| | | | |
|----|--|-----|-----|
| 10 | 資格取得等に対する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか | 4.0 | 4.0 |
| 11 | 人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか | 3.8 | 3.7 |
| 12 | 関連分野における企業等との連携において優れた教員を確保する等マネジメントが行われているか | 3.5 | 3.7 |
| 13 | 関連分野における先端的な知識、技能等を習得するための研修や指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか | 3.8 | 3.8 |
| 14 | 職員の能力開発のための研修が行われているか | 3.8 | 3.9 |

意見・質疑・補足等

丸山委員が、救急救命学科の自己評価について、昨年と比較して7項目の得点が上昇していることについて、その根拠の説明を求め、同学科長が「退学率の低減が課題であったが、対策が功を奏して明らかに退学者の減少が見られていることから自己評価点を上げた」との回答をした。

これ以外の意見・質疑・補足等はなく、自己評価妥当との評価を受けた。

| 4 学修成果 | | R4 | R5 |
|--------|--|-----|-----|
| 1 | 就職率の向上が図られているか | 3.9 | 4.0 |
| 2 | 国家試験または各種資格・検定等の合格率の向上が図られているか | 3.9 | 4.0 |
| 3 | 退学率の低減に向けた取り組みが図られているか | 4.0 | 3.9 |
| 4 | 卒業生、在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか | 3.8 | 4.0 |
| 5 | 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか | 3.8 | 4.0 |

意見・質疑・補足等

就職率については、卒業時に就職未決定だった者についてもその後の活動で就職内定していることが補足された。

項目3について、救急救命学科の評価について、退学率低減に取り組むにより明らかに退学者が減少している点が評価された（3点→4点）。

これ以外の意見・質疑・補足等はなく、自己評価妥当との評価を受けた。

| 5 学生支援 | | R4 | R5 |
|--------|--|-----|-----|
| 1 | 進路、就職に関する支援体制は整備されているか | 3.9 | 4.0 |
| 2 | 学生相談に関する体制は整備されているか | 4.0 | 4.0 |
| 3 | 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか | 3.9 | 4.0 |
| 4 | 学生の健康管理を担う組織体制はあるか | 3.7 | 3.8 |
| 5 | 課外活動に対する支援体制は整備されているか | 3.8 | 4.0 |
| 6 | 学生の生活環境への支援は行われているか | 3.8 | 4.0 |
| 7 | 保護者と適切に連携しているか | 3.8 | 4.0 |
| 8 | 卒業生への支援体制はあるか | 3.8 | 3.9 |
| 9 | 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか | 3.8 | 3.9 |
| 10 | 高校、高等専修学校との連携によるキャリア教育、職業教育の取り組みが行われているか | 3.8 | 3.7 |

意見・質疑・補足等

意見・質疑・補足等はなく、自己評価妥当との評価を受けた。

| 6 教育環境 | | R4 | R5 |
|--|--|-----|-----|
| 1 | 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | 3.9 | 3.9 |
| 2 | 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか | 3.8 | 4.0 |
| 3 | 防災に関する体制は整備されているか | 3.8 | 3.8 |
| 意見・質疑・補足等 | | | |
| <p>引田委員から、旧太田市立葦川西小学校跡地の活用について具体的な説明を求められ、石塚教務部長が設備等の説明及び今後近隣住民への解放の予定があることを回答した。引田委員からは学校の地域貢献につながる非常に良い取り組みになるとの評価を受けた。</p> <p>これ以外の意見・質疑・補足等はなく、自己評価妥当との評価を受けた。</p> | | | |
| 7 学生の受け入れ募集 | | R4 | R5 |
| 1 | 学生募集活動は適正に行われているか | 3.9 | 4.0 |
| 2 | 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | 3.9 | 4.0 |
| 3 | 学納金は妥当なものとなっているか | 3.5 | 4.0 |
| 意見・質疑・補足等 | | | |
| <p>引田委員から、自己評価における補足の文章について、評価点と補足内容に乖離が見られ、誤解を招きかねない表現があるとの指摘があった。当該箇所については、指摘を受けて表現を改めることとなった。</p> <p>これ以外の意見・質疑・補足等はなく、自己評価妥当との評価を受けた。</p> | | | |
| 8 財務 | | R4 | R5 |
| 1 | 中長期的に学校の財務基盤は安定していると言えるか | 3.9 | 3.9 |
| 2 | 予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 3.9 | 4.0 |
| 3 | 財務については会計監査が適正に行われているか | 3.9 | 4.0 |
| 4 | 財務情報公開の体制整備はできているか | 3.9 | 4.0 |
| 意見・質疑・補足等 | | | |
| <p>和田委員から、「財務」というものは純粋に経営に関わるものであり、公開されている情報を見ると財務状況に問題はないと評価できるが、現在の自己評価では各学科がそれぞれの立場で評価しており、その考え方で評価にばらつきが生じるので、この項目については学科に自己評価を委ねることなく、学校全体で評価してはどうかとの提案があった。これを受け、来年度以降の財務に関する評価については、その主体を本校で検討することとなった。</p> | | | |
| 9 法令等の遵守 | | R4 | R5 |
| 1 | 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 4.0 | 4.0 |
| 2 | 個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか | 3.8 | 4.0 |
| 3 | 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | 3.8 | 4.0 |
| 4 | 自己評価結果を公開しているか | 3.5 | 3.8 |
| 意見・質疑・補足等 | | | |
| <p>意見・質疑・補足等はなく、自己評価妥当との評価を受けた。</p> | | | |

| 10 社会貢献・地域貢献 | | R4 | R5 |
|--|---------------------------------|-----|-----|
| 1 | 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献、地域貢献を行っているか | 3.5 | 4.0 |
| 2 | 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか | 3.9 | 3.9 |
| 3 | 地域に対する公開講座、教育訓練の受託等を積極的に実施しているか | 3.8 | 3.9 |
| 意見・質疑・補足等 | | | |
| 意見・質疑・補足等はなく、自己評価妥当との評価を受けた。 | | | |
| 11 各委員からの総合評価 | | | |
| <p>●引田委員</p> <p>各学科長が真摯に課題に自己評価をしているので、評価点が低くなっている傾向が見られる。この評価が対外的に周知されるということも考慮して、取り組みに自信をもってまずは3点を基準にして4点を目指して活動をしてほしい。また、財務・法令遵守等の評価は学科単位で行うと他の評価の傾向に合わせて控えめな評価になってしまうと思われる。学校全体として自己評価をすることを願いたい。</p> <p>●和田委員</p> <p>昨年より評価の向上が見られ、各学科の努力を実感する。特に、国家試験合格率や検定試験の合格率は見事であると評価できる。</p> <p>●丸山委員</p> <p>各学科長は自分に対して厳しく評価をしていると感じる。それぞれの取り組みとその結果に自信をもって評価点に反映させてもらいたい。昨年度よりも良化した項目もあり、それぞれの学科の努力の結果ととらえている。</p> <p>●樋口委員</p> <p>卒業生の立場から言えば、在学中の学生支援は大変ありがたかった。現在は学生マンションやスクールバスの延伸など、さらに学生支援が充実してきていると感じる。</p> | | | |

以上